

一般質問通告書

令和 7 年第 4 回定例会において、下記の事項について一般質問を行いたいのので会議規則第 6 2 条第 2 項の規定により通告します。

令和 7 年 11 月 13 日

議員 松岡 唯史
会派 日本共産党



海津市議会議長 様

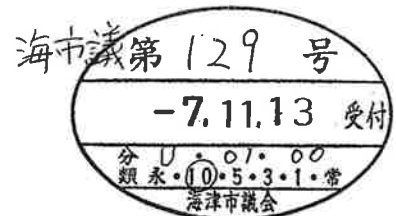
受領番号 第 3 号 受領日時 令和 7 年 11 月 13 日 15:00

要 旨 1. 公共交通・高齢者移動サービスについて

質問相手 市長

要 旨 2. 学校給食費無償化について

質問相手 市長・教育長



質 問 内 容

1. 公共交通・高齢者移動サービスについて

市民の方から「コミュニティバス（石津線）と養老鉄道石津駅の電車との接続が悪いので、ダイヤを改正してほしい」といったご要望を頂きました。そこで、本市企画課へ相談に行ったところ、「当該ダイヤの改正をすると、他路線のダイヤに影響するため（ダイヤ改正は）難しい」とのことでありました。一方で、同課の話によると、他の市民の方からも当該路線のみならず、他路線などにおいても「他の公共交通機関との接続が悪い」など現行ダイヤに対する苦情やダイヤ改正の要望を受けることがあるとのことでありました。

国土交通省のHPを見ますと、公共交通政策部門では「誰もが、行きたいときに、行きたいところへ行くことのできる社会の実現」を目指しているとありますが、本市のコミュニティバスが目指すべき姿になっているとは言い難いのではないのでしょうか。

また、コミュニティバスの利便性向上といった公共交通機関の充実を図ることは、市民のくらしやすさが増すことはもちろん、市外からの移住定住にも良い影響を与えと考えられます。

こうしたことから、現在のバスの運行台数ではダイヤ改正の制約があるとすれば、運転手を確保してバスの運行台数を増やしてでもダイヤの見直しを図り、市民のご要望にできる限り近づけるべきであると私は考え、次の点について市長へお尋ねします。

- ① コミュニティバス（定時定路線）の運行状況（バスの運行台数、運転手の人数、運行方法）。
- ② コミュニティバス（定時定路線）にかかる経費や収入と、バス 1 台を増台することに伴う経費。
- ③ 運行バスの台数を増やすべきであるという私の考えに対する市の見解。

また先日、その市民の方とは別の高齢者の方から、「海津町内の個人タクシーが事業を辞めたため、通院するのにますます不便になった。何とかしてほしい」とのご要望を頂きました。

私はこれまでも、議会内外で「高齢者の移動手段確保」や「高齢者移動サービスの充実」を提案・要望させていただいてきました。また、他の議員の方からも一般質問等でこの課題に対するご意見やご提案をされ、デマンドバスにおいては、土曜日運行を始めたり停留所を増やすなどの改善を図っていただきました。さらに、本市では地区社会福祉協議会の「高齢者移動サービス」への取り組みも支援していただいていると承知しています。

しかし、現在の本市の公共交通・高齢者移動サービスでは、高齢者の方のニーズに対応しきれていないのが実状ではないでしょうか。私は、今後ますます増加すると推測される高齢者世帯における移動手段の確保について、行政が責任をしっかりと果たしていかなければならないのではないかと、市民の方からのご要望を受けて改めて思いました。

一方で、8月21日の全員協議会において、六鹿議員や川瀬議員、水谷議員から「高齢者や障がい者の方を対象としたドア・ツー・ドア方式のデマンドバス」に関するご提案やご要望がされ、同課長から「その対策について検討している」旨のご答弁がありました。ちなみに、このやりとりの中で例として挙げられていた輪之内町においては、昨年10月から75歳以上の方と障がい者を対象とした事前登録制の「ドア・ツー・ドア方式」を始められたと認識しており、私も輪之内町のような「ドア・ツー・ドア方式」のデマンドバスを本市において開始すべきであると考えます。

以上のことを踏まえ、次の点について市長へお尋ねします。

- ① 高齢者や障がい者を対象とする「ドア・ツー・ドア方式」のデマンドバスは導入するのか。
- ② 地区社会福祉協議会等による高齢者移動サービスの実施状況。

2. 学校給食費無償化について

10月24日、高市首相は所信表明演説において、給食費無償化については「これまで党派を超えて積み重ねてきた議論を踏まえ、制度設計の議論を進め、安定財源の確保とあわせて来年4月から実施します」と述べられました。また、11月7日に自民党、日本維新の会、公明党の3党において小学校の給食費無償化に向けた実務者協議が開かれ、来年度からの実施に向け11月中旬に制度の詳細に関する合意を目指す報道されました。

一方、本市議会は、令和6年第3回定例会で「学校給食費の無償化を求める意見書」を可決し、国へ提出してきました。私としましても、これまでこの件に関しては何度も一般質問や予算要望で取り上げてきましたので、来年度からようやく無償化される見込みであることを嬉しく思います。

そこで、次の点についてお尋ねします。

- ① 来年度からの給食費無償化に関する詳細について。
- ② 国としては小学校のみを無償化する場合、中学校の給食費を徴収するのか。私は、中学校まで

の無償化を小学校の無償化と併せて実施することにより、本市が他市町よりも先進的な子育て支援自治体として「子育て世代に選ばれるまち」とPRできることや、無償化は子育て世帯への物価高対策の側面もあるため小学校と中学校を区別すべきではないと考えることから、本市独自の負担による中学校の無償化を来年度からぜひとも実施すべきであると考えているがいかがか。